

# 議会 だより



令和6年10月30日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.239

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80  
古紙配合率80%紙

中心市街地の夏(橋南)  
~丘の上 人と人のつながりから賑わい創出へ~



第3回定例会.....2P  
ズバリ市政を問う(一般質問).....4~6P  
委員会.....8~11P

令和6年

# 第3回 定例会

8月30日  
～  
9月30日  
開催

## 定例会のあらまし

第3回定例会開会日に、執行機関側から「専決処分」の報告について（損害賠償の額を定めることについて）など報告案件3件、「人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」など人事案件6件、「飯田市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件5件、「長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」など一般案件5件、「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案」ほか予算案件3件、「令和5年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について」など決算認定13件の計35件の議案の上程がありました。

中日（9月5日）には、「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について」の条例案件1件、「工事請負契約の締結について（過年度土木施設補助災害復旧事業橋梁（きょうりょう）災害復旧工事）」の一般案件1件の上程がありました。

人事案件6件については、開会日即日に同意し、中日に提出された一般案件は即決議案として産業建設委員会に付託され、ただちに委員会を開催して議案審査を行い、本会議で議決されました。

## 議案に対する質疑と審査

報告案件及び人事案件以外の議案20件は、所管の委員会に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、8ページから  
の常任委員会のページで、その一部を紹介します。

議案は最終日の審議でいずれも原案どおり可決しました。

## 動議による議案について

社会文教委員会の審査において、飯田市内飯伊地区社会保障推進協議会 代表 遠山計氏から提出のあった陳情第6号が不採択となった直後に、委員から改めて「国に対し『介護等への支援と介護人材確保のための政策の充実を求める意見書』を提出したい」とする動議がありました。また、飯田市内 飯伊生活と健康を守る会 会長 小倉 高広氏から提出のあった陳情第8号も不採択となった直後に、委員から改めて「市に対し『加齢性難聴者の補聴器を適切に利用できる環境整備に取り組むことを求める要望書』を提出したい」とする動議がありました。

この2件については、特段の質疑、意見もなく全会一致で決定し、意見書・要望書を委員会の総意として決定し、議会議案発委第7号「訪問介護等への支援と介護人材確保のための政策の充実を求める意見書の提出について」、及び議会議案発委第8号「加齢性

難聴者が補聴器を適切に利用できる環境整備に取り組むことを求める要望書の提出について」として、本会議に議会議案として上程し、可決しました。



市への要望書は、本会議終了後、議長から市長へ手渡しました

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス  
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



開会日QRコード



閉会日QRコード

# 予算決算委員会

予算決算委員会  
及び分科会における  
予算議案の審査の  
様子は、YouTubeで  
動画配信しています。



9月6日に前期全体会を開催し、予算決算委員会へ付託のあった議案について分科会への分担を決定しました。その後、9月12日から19日までにかけて各分科会を開催し、補正予算に係る予算議案3件、決算認定等15件の全18件を審査しました。

9月27日に開催した後期全体会では、各分科会の審査について座長報告を受けるとともに議案審査等を行い、いずれも原案のとおり可決又は認定することに決定しました。

また、「議会による行政評価」の評価の共有及び提言書の確認を行いました。「議会による行政評価」の提言については下段をご覧ください。

## 令和5年度飯田市各会計の決算を認定

令和5年度の決算において、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の合計である普通会計は、歳入総額502億8,320万円余、歳出総額493億880万円余となり（会計間で移動した金額を控除した後の額）、令和6年度に繰り越す財源2億4,769万円余を除いた実質収支は7億2,669万円余となりました。

## いいだ未来デザイン2028「後期計画」策定へ向けた「市議会による行政評価」に関する提言書及び「中期計画」に係る提言書を市長に手渡しました

「議会による行政評価」は、飯田市自治基本条例に規定されている市議会の責務を果たし、市の執行機関の活動の監視と適正な行政運営の確保を目的に平成20年度から実施しています。

今年度の「議会による行政評価」は、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画の最終年審査にあたります。7月に執行機関側から「中期計画4年間の振り返り」及び「後期基本計画素案」の説明を受け、中期計画4年間のすべての基本目標の評価から後期計画素案の基本目標（枠組み）について評価し、「不足している視点はないか」「課題と思われる点はないか」等をとりまとめ、「後期計画素案に対する提言（中間提言）」として執行機関側に提出しました。

9月定例会では、「後期計画の基本計画原案」の説明がなされ「中間の提言」として指摘した事項の対応状況等を確認するとともに、更に基本目標の「ねらい」や「戦略（考え方）」に不足している視点はないか等をとりまとめ、「後期計画に向けた提言書」に加え、「中期計画に係る提言書」を提出しました。

評価にあたっては、総務・社会文教・産業建設の各常任委員会の構成員による予算決算委員会各分科会及び必要に応じて連合会

議による専門的な評価を行い、予算決算委員会全体会で最終とりまとめを行いました。今回の提言が、次年度の戦略計画の策定や新年度予算編成に生かされ、さらなる市民サービスの向上に努められることを期待します。

提言書の詳細内容は、  
飯田市議会ホームページ  
に掲載しております。  
QRコードもしくは、

飯田市議会 行政評価

検索



▲9月30日に熊谷議長から佐藤市長に提言書を手渡しました

## リニア駅土曾川橋梁(りょう)工事に「要対策土」を活用することについて



古川 仁 議員 (日本共産党)

**A** 何らかの形で書面確認を行うことは、住民の不安払拭につながる一つの方法である。住民に安心していただくためにも、地下水の継続的な観測や観測結果の公表、責任の所在の明確化は必要なことだと考えており、その趣旨をJR東海に十分理解していただいた上で、書面で確認することについて協議を進めていきたい。

**Q** 環境や健康に懸念がある「要対策土」の活用に関して、JR東海と書面等を交わすべきと考えるが。

# ズバリ！ 市政を問う

第3回定例会の一般質問の概要を紹介します。  
(14名・質問順) ■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は  
**YouTube**で  
動画配信しています



## 災害に備えた防災・減災対策の考え方は



福澤 克憲 議員 (会派きぼう)

**A** 改定された河川整備計画に明記された「新設ダムの調査・検討」とは、戸草ダムを指していること認識している。川路、龍江、竜丘地域の治水対策事業は戸草ダムの建設を前提としており、当地域もその建設に向けてしっかりと取り組んでいかなければならない。流域市町村と連携し、同盟会を通じて要望活動等、より一層の治水対策の促進に努めてまいります。

**Q** 戸草ダム建設に対して飯田市や地域、みんなで必要性を考え、要望等に取り組んでいくことが大切では。

## 休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行について



小平 彰 議員 (新政いいだ)

**A** 学校部活動の地域クラブ活動への移行に対する地域の捉え方はさまざまであり、各地区や学校の実情に応じて無理なく進めていくことを基本としたい。現在地域で活動している社会教育関係団体を中心とした文化・スポーツクラブ等と連携し、各地区のまちづくり委員会にも協力をいただきながら、中学生が継続的に活動できる体制づくりを目指したい。

**Q** 市の進め方について、地域との連携をどう考えるか。

## マイナ保険証の利用状況と当市の取り組みは



宮脇 邦彦 議員 (公明党)

**A** マイナ保険証のメリットは多く、医療界のDX化や効率化につながるもので、行政としても周知が大事だと認識している。当市のマイナンバーカード保有率は約7割と着実に増加しており、マイナ保険証の利便性・有効性について、さまざまな媒体を使い市民へ伝え、市民意識の醸成と利用率向上を目指していく。

**Q** 現行の健康保険証の新規発行終了(12月2日)が迫る中、マイナ保険証の理解と利用促進をどう図るか。

## 飯田市職員の働き方改革は進んでいるか



筒井 誠逸 議員 (新政いいだ)

**A** 働き方改革の取り組みとして、院内に多職種による「役割分担推進会議」を組織し、各部署から提案された取り組みを進めている。職種ごとの業務分担の見直しや、勤務内容に応じた多様な勤務時間の設定などを行っている。今後は必要な職員数の確保が重要と考えているが、AIなどを活用した医療DXの推進による職員の負担軽減も進めていきたい。

**Q** 市立病院職員の働き方改革として、現在行っている事と、今後行いたい事は。

## 拠点集約連携型都市構造の推進について

西 森 六 三 議員 (会派きぼう)



**Q** 立地適正化計画における地域拠点の集約の必要性をどう考えるか。

**A** 地区ごとに独自の基本構想を策定するなど、市内20地区にはそれぞれに蓄積されてきた歴史や、独自に育まれた文化・伝統が受け継がれている経過があるため、地域拠点の集約や中心拠点への誘導施策を行う考えは持っていない。各地区の特色あるまちづくりを支援しつつ、各拠点における生活利便性の維持・向上を担保する施策展開を確実に行ってまいりたい。

## こどもの声と希望が届くまちづくりについて

佐々木 博子 議員 (会派みらい)



**Q** こどもの権利保障に関する条例を制定する自治体が増えている。こどもの権利とは何か。

**A** こどもの権利とは、子どもの権利条約の4原則「命を守られ成長できること」「子どもにとって最もよいこと」「意見を表明し参加できること」「差別のないこと」と認識している。昨年4月施行のこども基本法にも、こども施策の基本理念として「すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと」など6つの項目が掲げられている。

## 漏水時の水道料金に関する福祉的観点からの支援は

木 下 徳 康 議員 (新政いいだ)



**Q** 減免を受けたものの通常の10倍の請求になった独居高齢者がいるが、減免制度は現状のまま十分か。

**A** 現行減免制度において、使用者には漏水箇所の管理責任者として一定の負担をお願いすることとしており、全額を免除する予定はない。また、福祉まるごと相談窓口等で相談を受けることはできるが、直接的に費用を補助する施策はない。なお、議員提案のスマートメーターの導入は、コストが高額であり、独立採算制の公営企業として導入を見送った経過がある。

## 今後の小中学校の在り方としての学園構想について

岡 田 倫 英 議員 (会派きぼう)



**Q** 第一次方針(案)の内容がまだまだ市民に届いていない。引き続き十分な説明と対話が必要ではないか。

**A** パブリックコメント等の結果から、まだ学園構想が市民に十分理解されている状況とは言えない。第一次方針(案)は、小中学校9年間の教育内容の新たな方向性を示すものであり、今後策定する方針(案)も含め、保護者や地域の皆さんに広く知っていただくことが重要と認識している。さまざまな機会を通じて説明に努めてまいりたい。

## 農作物被害の削減に向けた状況把握と対策について

下 平 恒 男 議員 (新政いいだ)



**Q** 農作物には、自然災害、野生鳥獣害、盗難など多くの被害があるが、対応としてはどうか。

**A** 自然災害発生の際を事前に農業者へ知らせるほか、甚大な災害からの復旧への補助や共済掛金への補助を行っている。鳥獣対策では、今年度、防除柵等の設置費用に対する補助金の補助率を上げている。盗難防止策では、生産団体や警察と連携したパトロールや広報紙による啓発を行っているが、今後も関係機関と連携し、状況把握と対策に努めたい。

## 適正服薬に向けた残薬整理への取り組みは

市 瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



**Q** 過去に長野県薬剤師会で残薬の回収事業を行ったが、自治体も支援することが必要と考えるがどうか。

**A** 残薬整理への取り組みとして、医師、ケアマネジャー等から連絡があった際は、薬剤師が在宅訪問などにより個別に対応している。以前行った取り組みについて今後改めて行う予定は無いが、適正服薬指導全体の取り組みとして、飯田下伊那薬剤師会と連携を取って引き続き行ってまいりたい。

■物価高騰等が生活へ及ぼす影響は

## 飯田市は公契約条例の 制定に踏み切るべきでは



原 和 世 議員 (会派みらい)

**Q** 働き方改革関連法に合わせ、若年層技術者・技能者育成のため、今こそ労働報酬下限額を含む条例制定を。

**A** 条例制定を前向きに考える時期に来ていいると考えるが、全国的に公契約条例の適用対象とする業務を工事費等の金額で制限する自治体が多く、条例制定によって地域全体の労働環境の向上に結びつけることは難しい。また、市の体制整備のほか、下請業者も含めた労務管理等、事業者にも新たな負担が生じるため、これらの課題を踏まえ、実効的な仕組みを検討したい。

## 介護事業者等の負担軽減 に向けた取り組みは



関 島 百 合 議員 (会派みらい)

**Q** 介護の現場で「担い手不足」が深刻となる中、ケアマネジャーが抱える負担感を軽減できないか。

**A** 高齢化の進行によりケアマネジャーの需要が高まる一方で、業務量の多さや業務範囲のあいまいさが指摘されていることを背景に、厚生労働省が負担軽減策として、ケアマネジャーの業務範囲の明確化等の議論を開始している。国の動向を注視しつつ、ケアマネジャーの業務負担軽減につながる工夫を研究してまいりたい。

■「オーガニックビレッジ宣言」後の取組

## 議会報告・意見交換会



令和6年度議会報告・意見交換会を10月3日(木)から11日(金)までの平日7日間、8会場で各地区のまちづくり委員会と共催で開催しました。

全体会では、令和5年度に意見交換した内容のその後の活動状況を報告。分科会では「持続可能な住民自治について考える」(第1分科会)、「我がまちで「こども」を支えていくためには」(第2分科会)、「地域内経済の循環」(第3分科会)をテーマに各分科会で活発な意見交換が行われました。

## 体験や経験がこどもの 成長に与える影響の重要性は



小 林 真 一 議員 (公明党)

**Q** 地域との関わりや体験による人間関係構築や自己肯定感構築が重要とのことだが、今後の取り組みは。

**A** 今年度は第2次教育振興基本計画中期の最終年度となるが、後期においても、これまでの取り組みをより一層ステップアップしていくことが重要だと考える。こどもの学びと育ちを、学校だけでなく、地域が支え、応援することで、地域の自然、文化、人や物を題材とした体験を伴う学びを進め、問題や課題を解決していきたい。



# 所管事務調査としての管外視察を実施

## 総務委員会（7月1日～2日）



▲新潟県長岡市にて



◀所管事務調査報告書は  
こちら

所管事務調査のテーマである「人口減少、少子高齢化、社会経済情勢が大きく変化する時代にあっても、“住み続けたい、住んで良かった”と思える飯田にしていくためには」の調査研究として、当市の課題として顕在化してきている「住民による自治」と、地域での暮らしやすさを測る指標の一つと考えられる「地域幸福度（Well-Being）指標」について、参考事例を学ぶことを目的に実施しました。

〔新潟県 長岡市〕

住民自治の取組について（中越大震災からの復興に学ぶ）

〔新潟県 上越市〕

住民自治の取組について（飯田市の類似団体から取り組みを学ぶ）

〔長野県 茅野市〕

地域幸福度（Well-Being）指標の活用について

## 社会文教委員会（7月8日～9日）

「こどもまんなか社会」の実現に向けては、家庭や学校、地域、いろんな場所でこどもが安心して過ごせる場が増え、安心して子育てができる環境づくりに向け、さまざまな人材からの支援が切れ目なく提供されることが必要です。こどもや若者が将来にわたって幸せな生活ができる我がまちの実現に向け、さらに取り組みべき場や支援、仕組みなどの調査、研究を進め、今後の市政の方向性を探ることを目的に実施しました。



▲ぐりんぐりん

◀所管事務調査報告書はこちら

〔滋賀県 東近江市〕

教育に不安を抱える家庭の児童に学生ボランティア等支援員を派遣する事業

〔大阪府 大東市〕

大東市の子育て支援「ネウボランドだいとう」の取り組み

〔愛知県 春日井市〕

子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」施設の概要と見学



## 産業建設委員会（7月3日～5日）



▲島根県益田市にて



◀所管事務調査報告書は  
こちら

地域内の経済を豊かにする「生産・販売」「分配」「支出」という3つの要素を好循環させるため、地域資源の活用を視野に入れながら「地域内経済の循環」を所管事務調査のテーマに、地産地消、地域生産物のブランド化等に取り組む先進地を視察しました。

〔島根県 益田市〕

地元産農作物の地域内循環、ブランド化による販路拡大の施策及び地元スーパーの経営戦略等について

〔山口県 岩国市〕

地元産農作物のブランド化及び販路拡大について

〔大分県 臼杵市〕

市長認証の「ほんまもん農作物」、有機の里づくりについて

〔熊本県 阿蘇市〕

道の駅阿蘇の取り組みについて

# 総務委員会

8月30日と  
9月12日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

今定例会に総務委員会へ付託となった議案は、条例案件の2件でした。慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

**議案第78号 飯田市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

**【内容】**生活保護法の改正により進学準備給付金の名称が進学・就職準備給付金に改められたことに伴い、該当する箇所の字句等を修正するため、条例の一部を改正しようとするもの。

**議案第81号 飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について**

**【内容】**非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正により損害補償額の算定額となる補償基礎額が変更になったことに伴い、飯田市の非常勤消防団員等の補償基礎額を変更するため、条例の一部を改正しようとするもの。

## 《予算決算委員会 総務分科会》

予算案件及び決算認定のうち、総務分科会の分担となった議案は4件です。  
議案審査の中での主な質疑の内容をご紹介します。

**議案第88号 令和6年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案**

**Q** トップヒルズ本町管理組合供用管理負担金に関し、飯田市の負担割合は妥当か。

**A** 廊下やエレベーターなどの共用部分の負担割合については、建築当時に、専有面積を元に、利用頻度等により専門家からもアドバイスをいただき決定されている。適切な負担割合によって、他の店舗や住宅と案分されていると理解している。

**議案第91号 令和5年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について**

**Q** 地域自治組織助成事業について、次年度に向けて、有効性を高めていきたいとあるが、どのようなことが必要と考えるか。

**A** パワーアップ地域交付金は地域自治活動を支援するというスタンスで交付している。

まちづくり委員会の取り組みが大事であり、



そのようなことから、自治振興センターや関係課が地域課題の相談に乗る、あるいは、助言するなどして支援をしていきたい。  
\*この他、「令和5年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について(議案第97号)」及び「令和5年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について(議案第99号)」の審査を行いました。

**請願審査について**  
**2件の請願をいずれも「採択」しました**

**〔令和6年 請願第3号〕**

国に対し、女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出を願いたい(請願者)

飯田市内 I 女性会議長野県本部  
飯伊支部 会長 木下容子 氏

**【主な意見】**男女の権利として平等であるという原則は世界共通である。日本にはまだまだ課題が残っており、この議定書の批准が課題の解決につながるのであれば大変有意義と考える。

**〔令和6年 請願第4号〕**

地方財政の充実・強化を求める意見書を採択し、国へ意見書の提出を願いたい(請願者)

飯田市内 飯田市職員労働組合  
執行委員長 倉地浩史 氏

**【主な意見】**内容については趣旨適当である。

# 社会文教委員会

8月30日、  
9月13・17・19日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

## 議案第82号 飯田市総合運動場条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市総合運動場(松尾明)へ夜間照明を整備することに伴い、開場時間等に係る規定を修正するため、条例の一部を改正しようとするもの。

**Q** 夜間も運動場が利用できるようになることは良いが、夜間照明の光害について農作物の影響などの聞き取り等は終わっているか。

**A** 松尾地域協議会への諮問では、光害よりも土曜・日曜日に開催される大会などの騒音が心配であるとの意見をいただいた。騒音について様子を見ていきたい。整備する夜間照明は、小中学校の夜間照明設備と同じではなく、照明器具が少なく、また、住宅のある西側に対しては数を少なくするなどの配慮を行った。そのため光害についてはあまり影響が出ないと想定している。

## 《予算決算委員会 社会文教分科会》 議案第91号 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について

### 「産後家事育児支援事業」

**Q** 産後家事育児支援に係る費用の一部を助成しているが、この事業は飯田市単独の事業か。

**A** 市の単独の事業である。

**Q** つどいの広場など、現場でママパパからの聞き取りを行ってきたが、この事業に対して非常に多くの意見を聞いている。今の答弁から、事業内容については市で判断ができるという認識でいいか。

**A** 家事支援の部分の事業については、飯田市産後支援事業実施要綱に基づいて支給しているものなので、市で事業の組み立てができる。

## 議案第94号 令和5年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

**Q** 令和5年度は、第8期介護保険事業計画の最終年度だったが、4年度と比べて歳出が1千6百万ほど減少している。本来計画期間3年目が赤字となる考え方からするとどうなのか。また、第9期の策定年度、第8期の最終年度の決算をどのように見ていたか。

**A** 第9期介護保険事業計画を策定するにあたり、令和5年度の見込み数値が必要だったため、7か月分の数値から1年分を見込んだ。コロナの影響、介護報酬改定の影響、介護予防の取組などの要素を推測して見込んだが、結果として見込んだ数値まで伸びなかったと受け止めている。

## 議案第100号 令和5年度飯田市病院事業決算認定について

この議案は、令和4年度に続き赤字決算だということとを踏まえて、質疑が行われました。

**Q** 決算書の19ページの病床利用率は、令和元年度と令和5年度を比較すると、令和5年度は元年度より約1割減っている。一定の病床利用率を上げていかないと、経費を削減しても赤字の解消にはならないと考えるが、病院の認識はどうか。

**A** 経費の削減も大事だが、入院収益の確保が大事だと認識している。ドクターや看護師が不足している状況なので職員を確保しながら病床利用率も上げていきたい。

## 陳情審査について 4件の陳情をいずれも「不採択」としました

### 陳情第5号

国に対し、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書を提出願いたい

(陳情者)

飯田市内 近藤 健 氏

### 陳情第6号

国に対し、訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書を提出願いたい

(陳情者)

飯田市内 飯伊地区社会保障推進協議会

代表 遠山 計 氏

### 陳情第7号

国に対し、現行の健康保険証の存続に関する意見書を提出願いたい

(陳情者)

飯田市内 飯伊地区社会保障推進協議会

代表 遠山 計 氏 ほか1名

### 陳情第8号

市に対し、加齢性難聴者の補聴器購入費に対する公的助成制度を創設するよう要望願いたい

(陳情者)

飯田市内 飯伊生活と健康を守る会  
会長 小倉 高広 氏

# 産業建設委員会

9月17日、18日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となった議案2件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

## 議案第84号 財産の取得について

龍江インター産業団地の土地の分譲に伴う財産を処分したいとする議案。

## Q 売却する2区画の価格設定の考え方は。

A 不動産鑑定士のアドバイスを得ながら、土地造成に係る用地費及び造成工事費を原価に、近傍の土地価格や不動産調査意見報告書等を踏まえ設定した。

## 議案第85号 工事請負契約の締結について（道路メンテナンス事業橋りよう長寿命化修繕工事）

一級河川野底川に架かる紅葉橋の全面塗り替え塗装工事契約に係る議案。

Q 塗膜から基準値以上のPCB（ポリ塩化ビフェニル）が検出されたことについて、人体への影響はどうか。



紅葉橋

A 人体への影響はないが、令和8年度までに撤去する。規定に基づき施工する。

## 〈予算決算委員会 産業建設分科会〉

## 議案第88号 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案

Q トップヒルズの管理費の増額分はどのような契約に基づくか。

A 負担額は、トップヒルズ本町管理費等取扱規則に即して負担割合が決められている。

## 議案第91号 令和5年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

## リニア駅周辺整備事業

Q リニア開業時期が延伸するが、駅周辺整備は当初の計画どおり順調に進められているか。

A J R東海の本線工事や長野県の道路整備事業との工程の調整及び今後協議すべき事項はあるが、基本的に飯田市が進めるべき事業については概ね順調と認識している。

## 果樹・野菜等産地力強化事業

Q ドローン導入による省力化支援事業費の計上がないが、具体的にどのような事業か。

A ドローンの操作講習会を3回実施した。ドローンに関する事業費については、農業振興センター事業で購入に関する補助を行っている。



## 建築指導事業

Q 指定通学路における補助対象可能なブロック塀の把握件数は。

A 令和5年度末までの補助制度の適用可能件数は1,600か所弱となっている。

全てが直ちに危険というものではないが、所有者に対して危険なブロック塀とは何かというチラシに加え、撤去する場合の補助制度を周知する。

## 議案第96号 飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について

Q 維持管理費や共益費の増額分が、来年度以降負担になるが、経営上の見通しは。

A 市営本町駐車場の維持管理費や共益費に加え、すべての駐車場の設備費等についても増となってきている状況から、調査研究を進めながら現行の駐車場経営戦略ビジョンを見直す必要がある。

## 議案第101号 令和5年度飯田市水道事業決算認定について

Q 料金の改定時期を遅らせても黒字が確保できたのでは。

A 水道料金の改定は、令和5年度から令和28年度までの長期に渡る建設改良計画を遂行する上で必要な料金改定をお願いした。計画期間全体の収支の中で見ていく必要がある。

# リニア推進 特別委員会

9月20日に  
委員会を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

「中央新幹線長野県駅(仮称)及び関連事業に係る工事説明会」について

7月23日に北条地区、7月25日に座光寺地区、7月28日に上郷地区において、JR東海・長野県・飯田市から、リニア中央新幹線及び関連事業の工事に関する説明会が開催されたとの報告がありました。

## ■高架橋区間(駅東部・駅中央部)、土構造物区間(駅西部)の工事概要及び施工内容について

土曾川橋りょうや竜西一貫水路の付替え工事などの工事を進めてきているが、用地取得手続きの長期化、埋蔵文化財調査の進捗等を鑑み、工程の変更が必要になり、駅区間の土木構造物の構築に係る工事期間を2031年12月まで延伸するとの説明がありました。

**Q** 市道唐沢中河原線付近に工事用道路が計画されているが、新たに道路をつくるという理解でよいか。

**A** 該当箇所は市道の付け替えに合わせて、JR東海と市が費用負担して新設道路を設ける予定となっており、その座光寺側の部分を工事用道路として活用することになる。また、北条地区内については、工事施工

ヤードの中に工事車両の通路を設ける計画となっている。

## ■リニア駅周辺県関連3道路(国道153号飯田北改良、県道市場桜町線、座光寺上郷道路)の現在の進捗状況について

**Q** 国道153号 北条交差点周辺の拡幅工事では、歩道内の地下空間を利用して電力線等をまとめて収容する設計となっているが、他の関連工事も同様か。

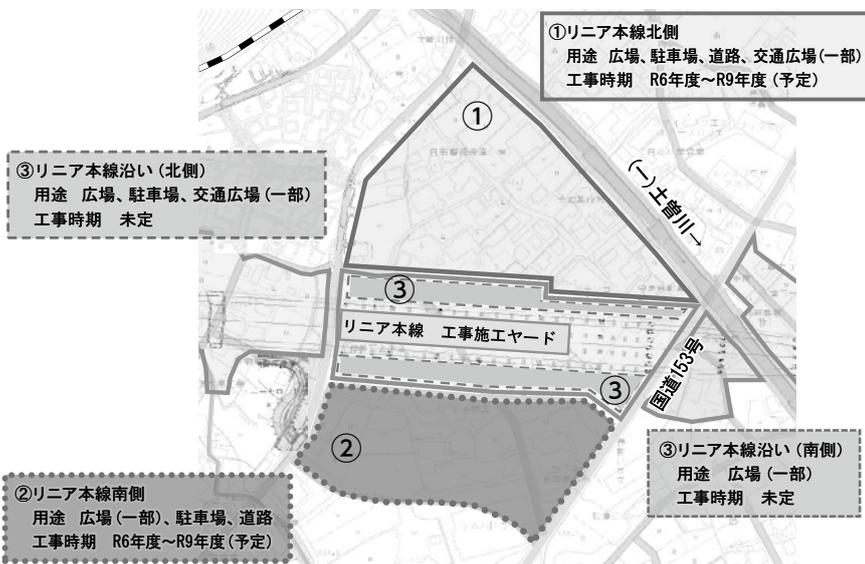
**A** 電気や電話のケーブル等を歩道内の地下を使用して設置する電線共同溝について、国道では全線で行う予定と聞いている。また、県道市場桜町線や座光寺上郷道路については、駅周辺整備の部分では電線共同溝を設置すると聞いている。詳細についてはまだ把握できていないが、地上に電線がない形で計画が進められているため、同様の構造になると想定している。

## ■飯田市が進めるリニア駅前広場の整備について

これまで、飯田市では2027年のリニア開業を目指して駅前広場の整備を進めてきたが、JR東海からリニア本線工事が2031年まで延長されることが示され、リニア本線沿いを工事施工ヤードとして使用したいとの申し出があった。

当面、リニア本線沿いにおいては、市が進める工事に着手できない。現時点で、土木関係の工程は示されたが、駅舎の建築工事や機械設備等の工事工程は示されなかった。市が整備を計画している交流広場や交通広場を含む一部エリアの整備完了時期の見通しを

たてられない状況のため、JR東海の工事の進捗に合わせ市の工事工程を検討していく。一方、飯田市が整備するリニア本線北側・本線南側の工事施工ヤードを除くエリアについては、2027年度末までに整備を行い、整備したエリアは、2028年度以降から供用を開始したいと考えている。



リニア駅前広場の工事工程 イメージ図

北側は、多目的広場や駐車場、駅前停車場線の整備を進め、南側は、駐車場、コミュニティ広場、リニア駅前線の整備を進めていくとの説明がありました。

## 羽場公民館「夏休み子ども寺子屋」

7月30日、羽場公民館「夏休み子ども寺子屋 企業探検シリーズ」に参加する羽場地区の小学1年生から6年生約40人が飯田市議会を訪問しました。羽場公民館の企画により実現したもので、議会は主権者教育の一環に位置付けて対応しました。

小学生は議会の役割などをクイズ形式で学んだ後、本会議場で議場体験に臨みました。市長が使う発言席に立って「夏休みにしたいこと」などの意見発表をし、広報広聴委員会の議員が感想を返すといったやりとりもしました。参加した小学生は「ぎ員のみなさんの前で自分でつくった文を話すことができよかった」などと感想が寄せられました。

小学生が議場を見学する例はこれまでも何回かありましたが、実際に席に着いて体験したのは今回が初めて。議会では、子ども達に議会の様子を知ってもらうことは大事であり、こうした機会はこれからも大切にしていきたいと考えています。



### 議会の動き(予定)

#### ■第4回定例会

11月29日(金)～12月25日(水)

#### ◇代表質問・一般質問(傍聴可能)

12月4日(水)、5日(木)、6日(金)

#### ◇委員会日程(傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	12月 9日(月)
総務委員会	12月12日(木)
社会文教委員会	12月16日(月)
産業建設委員会	12月17日(火)
リニア推進特別委員会	12月18日(水)
予算決算委員会後期全体会	12月24日(火)

#### ■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

11月15日(金)午後5時までにご提出ください。

### 議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻の着用、及びつえ、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)ご理解とご協力をお願いいたします。

### 広報広聴委員会

委員長/岡田 倫 英    副委員長/山崎 昌 伸  
委員/小平 彰        橋爪 重人    西森 六 三  
                                 宮脇 邦彦    関島 百合    市瀬 芳 明

### 表紙紹介

## がんばっとるに!! 橋南

#### 中心市街地「橋南」

毎年7月には、まちづくり委員会を中心に、関係する他団体とも連携・協働した「橋南夏まつり」「ふるさとコンサート」を開催しています。

りんご並木、丘の上中心市街地をフィールドに、地域内のみならず、地域外からも多くの人に足を運んでもらおうと、企画運営しています。

この夏、橋南公民館では、地域の子育てにみんなで関わる仕組みづくりとして「夏休み子ども教室・りんごっこ食堂」を開設しました。

地域の人と人のつながりが強い街をめざし、丘の上中心市街地の賑わい創出へ、継続した取組を進めていきます。



【第43回飯田りんごん 橋南連出陣】